

1 中期学校経営方針

(1) 学校教育目標と教育課程全体で育成を目指す資質・能力

学校教育目標	教育課程全体で育成を目指す資質・能力
すべての子どもが楽しい学校	<協働して課題解決に向かう力> <自分づくりに関する力>

(2) 中期取組目標

中期取組目標
教職員の協働性と特別支援教育の実践力を高め、全ての児童が楽しい学校生活を送れるようにする。業務の見直しを図り、働きやすい職場を目指す。保護者、地域から信頼される学校を目指す。 <ul style="list-style-type: none"> ・学ぶ楽しさやわかる喜びを実感し、主体的、対話的で深い学びが日々実践できるように、研究や研修を充実する。 ・特別支援教育の視点と組織で対応する児童指導体制を構築し、児童一人ひとりが安心して学校生活を送れるようにする。 ・保護者、地域、関係機関と連携を積極的に図り、協働して子どもを育てる風土を築く。 ・既存に囚われず業務の見直し、効率化・ペーパーレス化を図り、働きやすい、働きがいのある職場を目指す。

(3) 学力向上に向けた重点取組分野・具体的取組

重点取組分野	具体的取組
生きて働く知	①ICT 機器の導入と積極的に活用しながら授業改善を図り、児童の主体的、対話的で深い学びを実践する。②教科分担制やチームマネージャー（TM）を導入し、児童一人ひとりの課題に即した学習の充実を図る。
担当	学習指導部

2 横浜市学力・学習状況調査等からの実態把握

(1) 学力の概要と要因の分析

昨年度新設校のため、学力状況調査の結果がなく、綱島東小、日吉台小のデータをもとにして、実態を想定している。

両校ともに、どの学年も横浜市の平均を上回り、基礎基本が身に付いていると考えられる。一方で、学習意識に関しては、平均値は超えているが、若干低くなっている教科も見られる。学習する目的を明確にし、教科で学習したことが自分自身の生き方や考え方に結びつくことの楽しさに気づかせる必要があると考える。

(2) 学力層から見る教科学習の状況

どの教科、学年でも、学力層Aの割合が一番多く、学力層Bと合わせると三分の二を占めることが多い。今後は、学力層Dの児童たちへの丁寧な支援、また、授業での学習意欲を高め積極的に課題解決に関わっていかうとする意識を高めていく必要がある。学校全体で個への支援、合理的配慮について考えていきたい。

(3) 経年変化と状況と要因の分析（学習・生活意識調査も含めて）

今年度以降、授業等から評価した児童の実態と、学力状況調査の結果とを合わせた分析を続けていくことにより、箕輪小学校としての学力向上に向けたプランを考えていきたい。

3 R3年度 学年・教科等として育成を目指す具体的な資質・能力と具体的取組

	育成を目指す 具体化した資質・能力	具体的取組	
		前期	後期
1年	<ul style="list-style-type: none"> ○問題を発見して解決していこうとする力 ○基本的な生活習慣を作る態度 ○主体性・積極性 	<ul style="list-style-type: none"> ○様々な場面で、相手を見て話を聞く態度を身に付けられるようにする。 ○様々な場面で自分の考えを伝える方法を知り、繰り返し行うことで身に付けていけるようにする。 ○導入で子どもたちの学習意欲を引き出し、学習展開を工夫する。 ○単元内容の見通しをもち、各教科のつながりを大事にすることで、より学習が深まるようにしていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ○様々な場面で、相手が何を伝えたいのかを考えながら話を聞く態度を身に付けられるようにする。 ○相手意識をもち、自分の考えを様々な場面で伝えられるようにする。 ○学習の見通しをもち、学習意欲が継続できるように展開を工夫した学習計画を立てる。
2年		<ul style="list-style-type: none"> ○相手を見て話を聞き、自分の考えと比べながら話を聞く力を身に付けられるようにする。 ○既習事項と比べたり、モデル文を比べたりして、子ども自身が自ら問題を発見したり解決策を模索したりする経験を多く取り入れる。 ○学習の見通しがもてるように、学習計画を立てる。 ○相手意識を大事にした単元構成を考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ①相手を見て話を聞き、自分の考えと比べながら話を聞く力を身に付け、自分の考えとつなげて伝えられるようにする。 ②既習事項と比べたり、モデル文を比べたりして、子ども自身が、自ら問題を発見したり、模索した解決策を実行する経験を多く取り入れる。 ③子どもたち自身で学習計画を立てる機会を増やし、学習の見通しをもって、主体的に取り組めるようにする。 ④相手意識・目的意識を大事にした単元構成を考える。
3年	<ul style="list-style-type: none"> ○問題を理解し、試行錯誤する能力 ○地域を愛する気持ち ○社会生活の中での協調性 	<ul style="list-style-type: none"> ○試行錯誤できる課題や場、用具を設定する ○学習課題を明確にし、その都度振り返りができるようにする。 ○社会科で地域を知る場を設け、地域を知る機会を作る ○学習を通して地域を意識する機会を多く設ける ○学校生活の中で、高学年や学校職員が学校生活のために働いていることを知る。 ○クラスをよりよくするために係活動の内容を考える場を設ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ○試行錯誤できる課題や場、用具を設定する。 ○学習の振り返りを通して、自分が身につけた資質能力を価値づけるようにする。 ○学習を通して地域の良さに気づき、地域に愛着をもてるようにする。 ○地域の活動の意義を知り、地域に親しみをもつ。 ○学校生活の中で、高学年や学校職員が学校のために働いていることを知り、自分にできることは何か考える。 ○クラスをよりよくするために係活動の内容を工夫する場を設ける。
4年		<ul style="list-style-type: none"> ○学習中、議論・試行錯誤をする場を設ける。 ○自分の考えを論述する機会を設ける。 ○社会科等単元の中で、箕輪の地域を考える問いを設ける。 ○SDを確保したうえで、協働的な活動の場（班活動など）を設ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ○学習中、議論・試行錯誤をし、友達立場を踏まえて発言をする。 ○自分の考えを論理的に論述する ○社会科等単元の中で、箕輪の地域について考えたり、人とつながったりする場を設ける。 ○SDを確保したうえで、協働的な活動の場（班活動など）を設ける。
5年	<ul style="list-style-type: none"> ○問題を認識し、観察・洞察する力 ○他者を理解する態度・自己を理解する姿勢 ○学校生活へ参画する姿勢 	<ul style="list-style-type: none"> ○学習のめあてを明確にすることで、児童が学習のゴール（まとめ）を意識し、計画的に学習活動に取り組めるようにしていく。 ○児童が互いの意見を交流できる場を設けたり、児童の発言をつなげる発問をしたりし、考えを広げ、深めていけるようにする。 ○よりよい学級を創っていくために、児童のアイデアを大切にしながら、役割を明確にし、一人一人が責任をもって活動できるようにしていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ○学習の振り返りなどから次への課題をもてるようにし、児童と一緒に学習活動を創り上げていけるようにする。 ○授業展開や場を工夫することで、友達のことを理解し、互いに補い合おうとする気持ちを育てる。 ○委員会活動やクラブ活動の中でフォロアースキップを発揮し、六年生を支えながら活動することで、次年度、最高学年となる意欲を高められるようにする。

6年		<p>○児童が興味・関心をもてるような課題提示や授業展開を工夫し、意欲的に学習課題に取り組めるようにする。</p> <p>○児童が発信した考えを児童に返し（問いかけ）双方の考え方を伝え合うことで学びを深めていけるようにする。</p> <p>○スモールステップの指導法を大切にし、児童自身、学習活動の前後でどのような力が身についたのかを自覚できるように日々の授業展開や教材研究を工夫していく。</p> <p>○最高学年としての誇りをもつことを学年経営の一つの核としたい。学年の一人ひとりが同じ方向を向いて団結し、生活面においても、学校行事においても、より充実したものを創り上げ、生涯の思い出に残るようにしていく。</p>	<p>○問題解決型学習を中心に、児童と一緒に学習活動を創り上げていく。</p> <p>○発問内容を工夫したり、児童同士で発言をつなげていけるように授業展開を工夫したりすることで、自分たちで学習活動を創り、表現することの楽しさや大切さに気づけるように指導していく。</p> <p>○話し合い活動を多く取り入れ、自分の思いを効果的に伝える力、様々な考え方を認める態度を育成する。</p> <p>○諸行事や学級活動を自分たちで計画したり、準備したり、アイデアを出したりしながら、主体的に活動を創り上げていくことで、学校生活に達成感や満足感をもてるようにする。</p>
個別支援級	<p>○自己肯定感を高め、人とかかわる力</p>	<p>○簡単なルールを守って、仲良く活動できるようにする。</p> <p>○ふわふわ言葉や「ありがとう」「ごめんなさい」の言葉を意識できるようにする。</p>	<p>○困った時どどのように対応したらよいかについて、周りの人に助けを求める場面を設定する。</p> <p>○ゲームなどを通して、問題点を取り上げ、よりよく遊ぶためにはどのように工夫していけばよいか考えたり、意見を発表したりする場を設定する。</p>